

## 令和4年度 町行政施策及び予算要望事項について

要望日 令和3年7月20日

回答日 令和3年11月5日

進捗状況報告日 令和4年10月予定

### 総務常任委員会

#### 1. 防災、防犯等対策のDX（デジタルトランスフォーメーション）化を推進

①防犯カメラ，監視カメラ（監視員を含む）の設置要領等の見直しと推進

②防災・防犯等（リアルタイム）情報共有システムの導入

#### （回答）

① 防犯カメラについては，令和5年度まで茨城県警察本部の補助を利用して主要交差点に設置を進める予定です。

設置にあたっては，「茨城県警察街頭防犯カメラ設置費補助事業に関するガイドライン」に沿う必要があり，ネットワーク型の街頭防犯カメラは非推奨となっていることから，令和5年度まではガイドラインで推奨しているスタンドアロン型の防犯カメラの設置となります。

監視カメラについては，不法投棄が懸念される場所に設置しており，環境保全監視員は2名配属されております。

監視カメラは，電池交換や画像確認に多くの時間と労力を要するため，増設ではなく監視カメラの配置の見直しにより効率化を図ってまいります。

設置要領等の見直しについては，今後，他市町村の状況を参考にしながら，DX化をはじめプライバシー保護の方法や効果的な運用を検討してまいります。

② 情報共有の効率化を図るため，緊急時の町管理職連絡網について，令和2年度よりLINEグループによる運用を開始しましたが，令和3年度からはさらに避難所対応に当たる町職員用にLINEグループを導入しました。

また，9月から11月の間，LoGoチャットの試行サービスを活用し，防災危機管理課にて情報共有ツールの有効性・課題の検証を行っております。

なお，防災・防犯等におけるリアルタイムでの情報共有については，スマホアプリを活用した町職員間の情報共有や住民からの情報提供，ドローンを活用した災害現場の映像配信等，様々な手段が考えられることから，今後も複数システムやツールの比較・研究を行ってまいります。

## 民生教育常任委員会

### (保健福祉部)

2. 障がい者の雇用機会拡大のため、農業委員会との協同による農福連携や民間企業への周知を図る

#### (回答)

障害者の雇用促進について茨城障害者職業センター、ハローワーク、障害者就業・生活支援センター等と連携し就労支援に努めるとともに、雇用契約に基づく就労が困難な方に対しては就労継続支援B型事業所の拡充に努めるほか、農福連携については、農福連携実施事業者と情報連携を図り、実施可能な方法について農業委員会等と協議し、就労機会の拡充を図れるようにしてまいります。

また、障害者を雇用する企業への支援制度等（障害者雇用促進法）について、周知を図ってまいります。

### (教育委員会)

3. 給食費無料化のさらなる拡充を図る

#### (回答)

給食費の無料化については、令和2年度に拡大しましたが、段階的に拡大していく考え方は変わらず、引き続き適切な拡大条件を検討していきたいと考えております。

## 産業建設常任委員会

4. 大胆で総合的な起業支援

#### (回答)

「大胆で総合的なビジネス・インキュベータ（起業）」支援については、多岐にまたがる事業展開が必要となることから、関連する課等において情報共有を図るとともに、提案のありました支援内容について調査研究してまいります。

5. 町道第0104号線フタムラ化学前の右折レーンの設置及び子供たちの待機場所の確保

(回答)

右折レーンの設置については、渋滞がほぼ発生していない状況から、現在のところ設置を急ぐ必要は無いと考えております。今後の渋滞状況を観察しつつ、状況に変化があれば改めて検討いたします。

子供たちの待避所の確保については、通学路交通安全プログラムの対策箇所となっており、県が対策の事業主体となっております。県では、県道竜ヶ崎阿見線の歩道整備による対策を進めており、歩道整備は今年度中に実施する予定です。

また、それに併せて、町では通学ルートの一部変更による対策を検討しております。